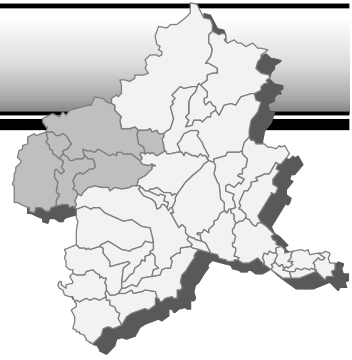


吾妻地域



吾妻地域は、県北西部の山間地に位置し、面積は県全体の約20%を占めていますが、人口は県全体の約3%で、近年は人口減少と少子高齢化が急速に進んでいます。一方で豊かな自然や温泉などの観光資源に恵まれ、伝統や文化、住民の絆が大切に受け継がれており、県内外から多くの人々が訪れる魅力的な地域です。

地域の優れた特性

- 上信越高原国立公園、ラムサール条約*登録「芳ヶ平湿地群」などの美しい自然景観や、自然湧出量日本一の草津温泉や四万温泉、万座温泉をはじめとした多くの名湯、日本ジオパーク*に認定された「浅間山北麓ジオパーク」などがある県内屈指の観光資源王国です。
- 生産量日本一の「夏秋キャベツ」をはじめ、標高差や気候条件を活かした高原野菜などの栽培や酪農、養豚、養鶏などの畜産が盛んで、新鮮な農畜産物の一大産地となっています。

地域の現状と課題

- 土砂災害対策が必要な箇所が多く残されており、土砂災害から人命と財産を守るための取組が必要です。
- 緊急輸送道路*の落石対策が必要な箇所が多く残されており、豪雨や地震等による道路の通行制限や孤立の発生を防ぐための取組が必要です。
- 県央部や首都圏から遠い立地条件と、高速交通網へのアクセシビリティの低さを克服し、地域の発展と住民の利便性向上を図る取組が必要です。
- 草津温泉や四万温泉などの、県内外に誇れる観光地へのアクセスの強化を図るための取組が求められています。
- 通学路を中心に歩行者や自転車の安全な通行を確保するための取組が求められています。



県民の声

- 避難経路の確保や消防活動が困難な区域の解消、災害弱者の避難対策の充実、土砂災害などの被害防止施設の整備が必要である。
- 通学路だが、歩道がない区間の歩道整備をお願いしたい。
- 草津温泉街周辺の観光シーズンの渋滞緩和のための道路整備を進めてほしい。

地域の課題を解決するための主な取組方針

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

- ① 災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため、国道292号の落石対策や国道145号の電線共同溝、上信自動車道の整備等を推進します。

政策3 多様な移動手段の確保

- ① 地域の発展と住民の利便性向上を図るため、国道144号の線形改良等を推進します。
- ② 県内外に誇れる観光地へのアクセスの強化を図るため、国道146号の現道拡幅や国道292号の登坂車線整備等を推進します。
- ③ 歩行者や自転車の安全な通行を確保するため、国道292号の歩道整備等を推進します。
- ④ 物流の効率化や観光振興への効果を検証し、上信自動車道の県境区間については、長野県と連携して整備の検討を行います。

* 用語の意味については、P81の用語解説をご覧ください。

主要事業一覧（吾妻地域）

1. 継続事業（県事業）

（全体事業費：億円）

政策		番号	事業名	所在地	完成予定	全体事業費
施策	目的					
政策1. 災害レジリエンスNo.1の実現						
施策3 防災インフラの整備 （中長期レジリエンス戦略）	災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため	1	国道144号 落石対策	嬬恋村今井	R2	2
		2	国道145号 落石対策	東吾妻町郷原	R2	1
		3	県道草津嬬恋線(前口工区) 落石対策	草津町前口	R4	1
		4	県道草津嬬恋線(今井工区) 落石対策	嬬恋村今井	R3	1
		5	国道292号(草津工区) 落石対策	草津町草津	R6	4
		6	国道292号(嬬恋工区) 落石対策	嬬恋村干俣	R4	1
		7	県道中之条草津線 落石対策	中之条町上沢渡	R9	1
		8	国道145号(原町工区) 電線共同溝	東吾妻町原町	R5	7
		9	上信自動車道(吾妻西バイパス) バイパス整備	東吾妻町厚田～松谷	R5	169
		10	上信自動車道(吾妻東バイパス) バイパス整備	東吾妻町植栗～厚田	R11	284
		11	県道植栗伊勢線 現道拡幅	東吾妻町植栗～中之条町伊勢町	R10	64
		12	上信自動車道(吾妻東バイパス2期) バイパス整備	東吾妻町箱島～植栗	R11	299
24	国道145号(高山工区) 落石対策	高山村中山	R4	1		
政策3. 多様な移動手段の確保						
施策2 自動車交通網の整備	地域の発展と住民の利便性向上を図るため	13	上信自動車道(長野原嬬恋バイパス) バイパス整備	長野原町与喜屋～嬬恋村鎌原	R11	220
		14	県道渋川東吾妻線(槻木交差点) 交差点改良	東吾妻町原町	R4	2
		15	県道川原畑大戸線(大柏木川原湯トンネル) トンネル整備	長野原町川原湯～東吾妻町大柏木	R2	42
		16	県道高崎東吾妻線(浄永橋工区) 現道拡幅	東吾妻町厚田	R3	4
		17	国道144号(大前工区) 線形改良	嬬恋村大前	R5	8
		18	国道406号(大戸工区) 現道拡幅	東吾妻町大戸	R10	5
		19	県道大笹北軽井沢線(鎌原工区) 現道拡幅	嬬恋村鎌原	R6	4
		20	国道146号(古森3期工区) 現道拡幅(浜岩橋含む)	長野原町羽根尾～古森	R7	8
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	21	国道292号(洞口工区) 登坂車線	長野原町大津	R9	9
		22	国道144号(西窪工区) 歩道整備	嬬恋村西窪	R2	2
		23	国道292号(大津工区) 歩道整備	長野原町大津	R3	2
		28	国道353号(伊勢町工区) 歩道整備	中之条町伊勢町	R8	3

主要事業一覧（吾妻地域）

2. 令和6年度までに着手予定の事業（県事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
該当する主要事業なし					

3. 着手に向けて検討する事業（県事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策2 自動車交通網の整備	地域の発展と住民の利便性向上を図るため	25	上信自動車道 ((仮称) 嬭恋バイパス) バイパス整備	嬭恋村鎌原～田代	
		26	国道406号(萩生2期工区) バイパス整備	東吾妻町萩生	
	観光地アクセスの強化を図るため	27	県道中之条草津線(湯原工区) バイパス整備	中之条町上沢渡	
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備	歩行者や自転車の安全な通行を確保するため	29	国道292号(草津工区) 歩道整備	草津町草津	

4. 継続事業（市町村事業）

(全体事業費：億円)

政策		番号	事業名	所在地	完成予定	全体事業費
施策	目的					
政策1. 災害レジリエンスNo.1の実現						
施策3 防災インフラの整備 (中長期レジリエンス戦略)	災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため	30	村道大横川北山線 落石対策	嬭恋村大笹	R7	3
		31	村道三原鎌原線 防災対策	嬭恋村鎌原	R5	1.3
政策3. 多様な移動手段の確保						
施策2 自動車交通網の整備	地域の発展と住民の利便性向上のため	32	村道鳥居峠車坂線 現道拡幅	嬭恋村鎌原	R9	15
		33	村道大前細原線 大前橋架替	嬭恋村大前	R6	9
		41	村道長井大平線 現道拡幅	嬭恋村大笹	R8	5

5. 令和6年度までに着手予定の事業（市町村事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策2 自動車交通網の整備	地域の発展と住民の利便性向上のため	38	町道上新田泉水線 道路改築	草津町草津	

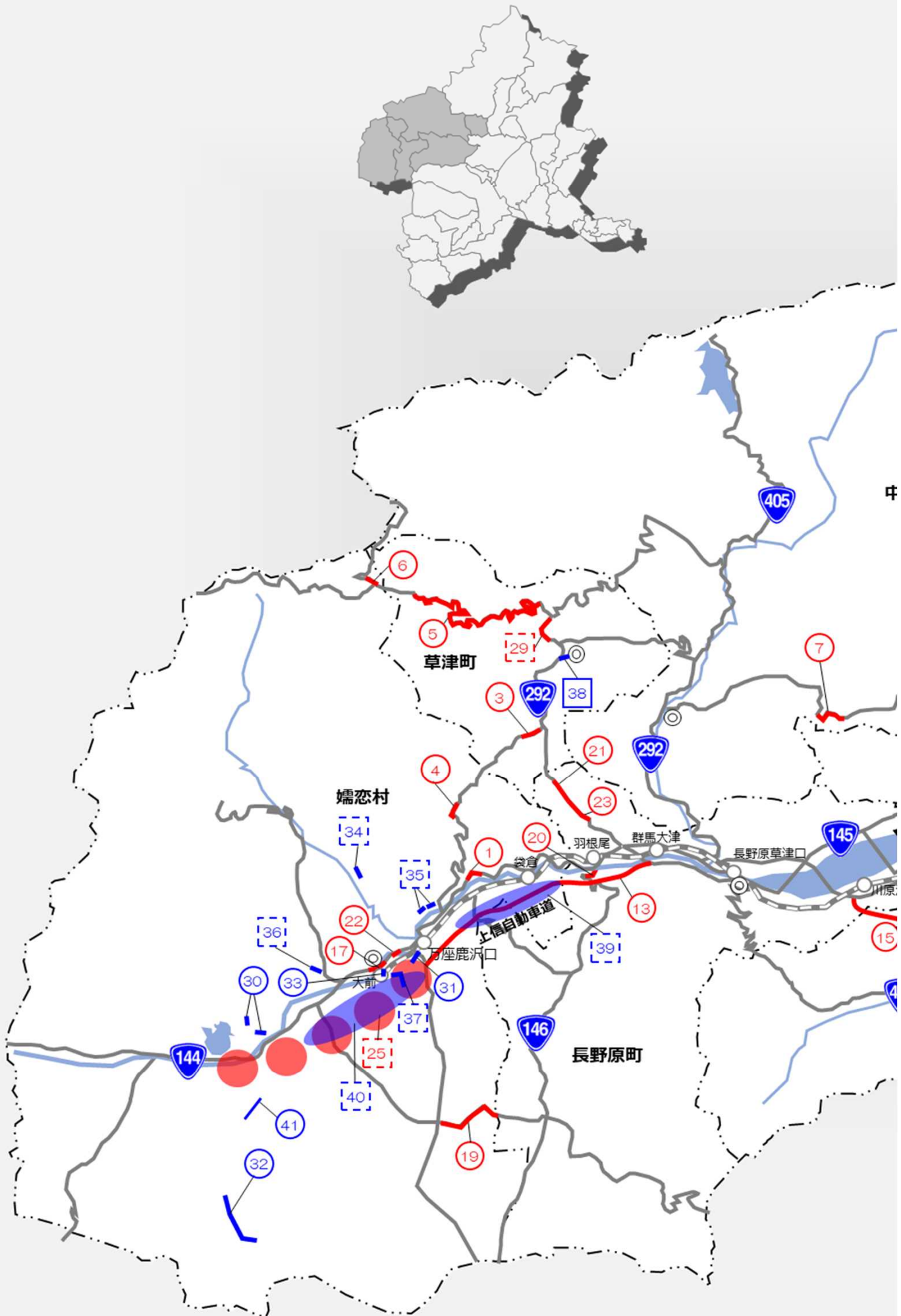
6. 着手に向けて検討する事業（市町村事業）

政策		番号	事業名	所在地	備考
施策	目的				
政策1. 災害レジリエンスNo.1の実現					
施策3 防災インフラの整備 (中長期レジリエンス戦略)	災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため	34	村道西窪門貝線 落石対策	孺恋村門貝	
		35	村道三原西窪線 落石対策	孺恋村三原	
		36	村道長井砂井線 落石対策	孺恋村大笹	
政策3. 多様な移動手段の確保					
施策2 自動車交通網の整備	地域の発展と住民の利便性向上のため	37	村道大前鎌原1号線 現道拡幅	孺恋村大前	
		39	上信自動車道 (長野原孺恋バイパス) アクセス道路 道路新設	孺恋村袋倉～鎌原	
		40	上信自動車道 ((仮称)孺恋バイパス) アクセス道路 道路新設	孺恋村鎌原～田代	

※ 表中の全体事業費は、本プログラム策定時点のものであり、その後の不測の要因により変更となる可能性がある。

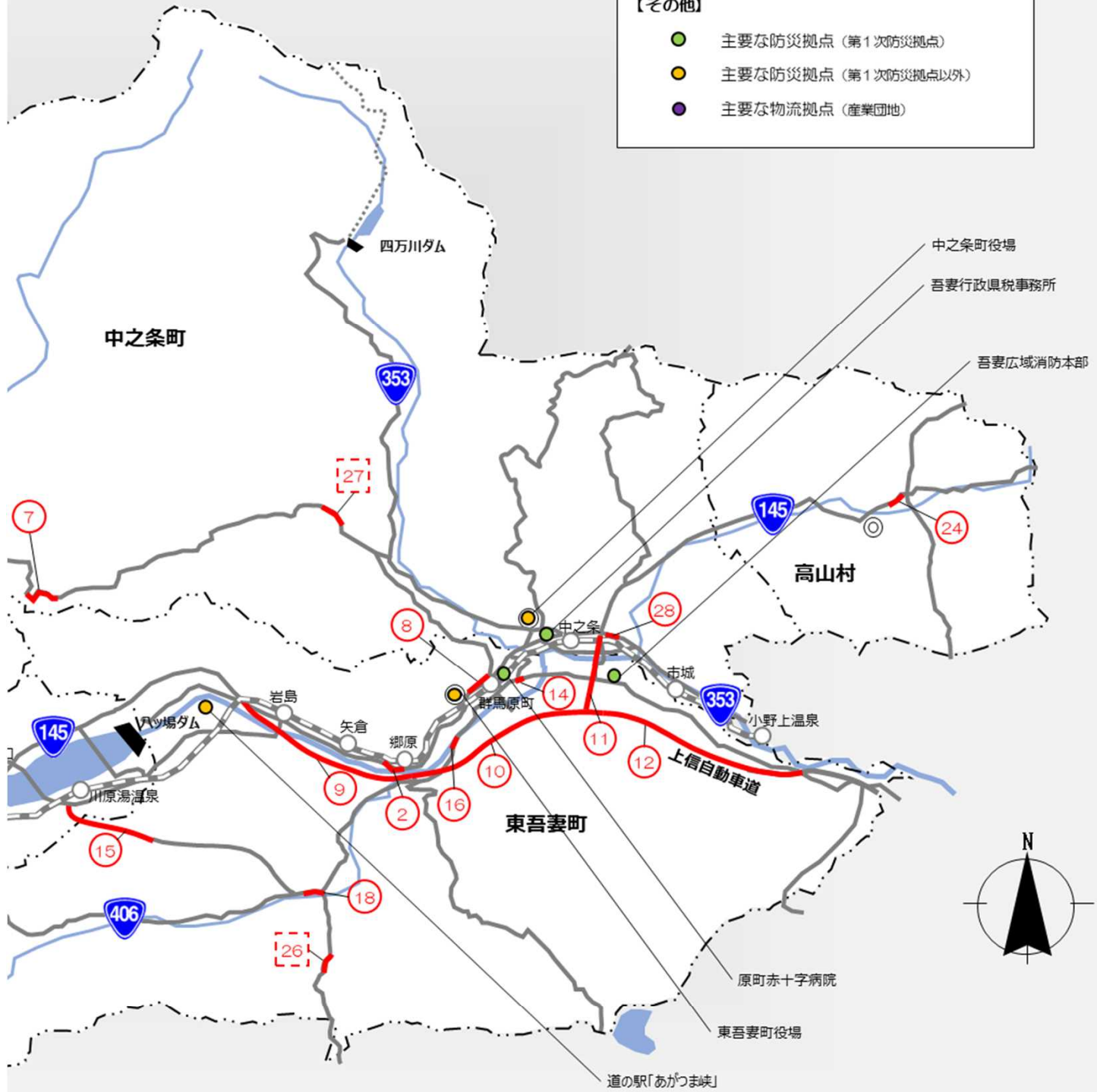
主要事業箇所図 (吾妻地域)

第2部
地域計画編



凡例

- 【事業分野区分】
- 県事業
 - 国直轄事業
 - 市町村事業
 - 高速道路会社事業
- 【継続事業・着手予定事業の区分】
- 継続事業
 - 令和6年度までに着手予定の事業
 - 着手に向けて検討する事業
- 【その他】
- 主要な防災拠点（第1次防災拠点）
 - 主要な防災拠点（第1次防災拠点以外）
 - 主要な物流拠点（産業団地）



10km